

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 若竹会

<経営方針>

教育・保育施設として、就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）及び子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）並びに青森市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年青森市条例第29号）及び青森市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（平成26年青森市条例第28号）その他の関係法令を遵守し、教育及び福祉の向上に努め、地域に密着した教育・保育施設として、児童が伸び伸びと遊べる環境を整え、個人個人を尊重するより良い教育・保育を行っていく。

また、地域のセンター的役割を果たすため、父母の会、高齢者、小学生及び中高生を含めた地域との交流を図り、努めて施設を開放し、「明るく開かれた教育・保育施設」を目指す。

その他、地域の実態を踏まえ、延長、一時預かり、子育て支援、休日保育等を行い、利用しやすい教育・保育施設を目指す。

<園訓> 健康 ・ 明朗 ・ 誠実 ・ 協調

I 法人運営

1. 役員構成

理事長	工藤勝清	理事	佐藤公正
理事	高田 進	理事	鹿内 隆
理事	田中美穂子	理事	工藤勝顯
監事	中村哲雄	監事	由町 昇

2. 第三者委員

中村哲雄 ・ 由町 昇

3. 経営する事業

○幼保連携型認定こども園の経営

認定こども園名	所在地	定員	特別保育
こども園 瑞穂 (H28.4 事業開始)	青森市浪岡大字女鹿沢 字稲本85	1号 12名 2号 36名 3号 34名 (受入可能119%)	延長保育・休日保育 異年齢児交流事業 小学校低学年受入
浪岡若葉こども園 (H30.4 事業開始)	青森市浪岡大字下十川 字扇田191-I	1号 6名 2号 30名 3号 20名 (受入可能119%)	延長保育・休日保育 異年齢児交流事業 小学校低学年受入

○一時預かり事業の経営（H21.6 ：届け出）

浪岡若葉保育園 こども園 瑞穂	週3日程度、月14日まで利用可能 保護者の短時間就労、傷病、看護、育児による疲れの解消など 一時的に保育が必要となった児童を預かる。
--------------------	--

○病児保育事業の経営

こども園 瑞穂 (H27.4 事業開始)	利用定員 1日3名 対象児童 0歳～小学3年生 受診し、医師の確認後利用。
-------------------------	--

4. 法人監事の監査会（平成30年5月23日 午前9時30分～

平成30年5月24日 午前9時～ こども園 瑞穂 事務室）

監査報告：適・良好

5. 理事会開催状況

理事会					
開催日	議案	出席	開催日	議案	出席
H30.6.1 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査会報告 ・ H29年度事業報告 決算報告 ・ 定時評議員会の招集 ・ H30年度5月補正予算 ・ 経理規程一部改正 	理事 5名 監事 2名	H30.12.12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業規則及び給与規程、 準職員就業規則の一部改正 	
H30.11.8 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浪岡若葉こども園隣接地 の購入及び裏地建物取壊 ・ こども園瑞穂病児保育室 トイレ ・ H30年度11月補正予算 ・ 評議員会の招集 ・ 業務執行報告 	理事 5名 監事 2名	H31.3.16 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度3月補正予算 ・ 就業規則一部改正 ・ 運営規程の一部改正 ・ H31年度事業計画 ・ H31年度当初予算（案） ・ 評議員会の招集 ・ 継続雇用及び退職、採用職員 	理事 5名 監事 1名

6. 評議員会開催状況

評議員会					
開催日	議案	出席	開催日	議案	出席
H30.6.8 (こども園 瑞穂)	・ 監事による監査報告 ・ H29 年度決算報告. 財産目録 ・ 5 月補正予算 (案)	7 名 監事 2 名	H30.11.15 (こども園 瑞穂)	・ H30 年度 11 月補正予算	6 名 監事 2 名
H31.3.25 (こども園 瑞穂)	・ H30 年度 3 月補正予算 ・ H31 年度事業計画 ・ H31 年度当初予算 (案)	6 名 監事 2 名			

7. 平成 30 年度指導監査 (青森市健康福祉政策課 4 名)

◇こども園 瑞穂 平成 30 年 12 月 5 日 (午前 9 時 30 分～)

◇浪岡若葉保育園 平成 30 年 12 月 5 日 (午後 1 時 30 分～)

<指摘事項>

○両園共に指導事項無し

8. 職員の状況 職員数 42 名 (平成 30 年度)

○職員構成

区 分	園長	主幹保育教諭	保育教諭 (パート 含)	准看護師	栄養士・調理 員 (パート含)	事務・用務員 (パート含)	計
浪岡若葉こども園	1	1	14	1	2	3	22

区 分	園長	主幹保育教諭	保育教諭 (パート 含)	准看護師	栄養士・調理 員	事務・用務 員 (パート含)	計
こども園 瑞穂	1	1	18		2	3	25
病児保育事業			(保育士) 2	1			3

9. 職員の健康管理

職員の定期健康診断 (5月29日実施) 場所: こども園瑞穂園庭

青森県総合健診センター附属あおもり健康管理センター

○結果を受け、個人に伝え必要に応じ受診を進める。

10. 会議等

- 職員会議：毎月（各園）
 ミーティング：毎週（各園）
 行事反省会：行事終了後（浪岡若葉子ども園）

1 1. 職員研修

◆園内研修

	回数	内 容
浪岡若葉子ども園	6回	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士としての心得 ・「燃えつき」の兆候リスト ・自己成長エコグラム・職員の言動、リーダーとサポートの関係 ・気になる子への配慮（巡回指導での指導内容について） 職員共通理解について ・園でのテレビ視聴について（保護者からの問合せ） ・「気になる子」への配慮（巡回指導を受けての成果） ・児童虐待防止 ・自己チェックについて
子ども園 瑞穂	10回	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症 ・怪我と事故 ・保護者対応 ・気になる子 ・虐待 ・手遊び ・第三者評価に向けて（2回） ・SNS ・防災

◆外部研修参加状況

研修名	浪岡若葉子ども園	子ども園 瑞穂	備考
赤十字指導者協議会研修会（2回）		2	保育教諭
教育・保育施設職員研修会（5回）	4	5	園長・保育教諭
平成30年度保育所セミナー		1	保育教諭
平成30年度栄養・食育マネジメントセミナー		1	調理員
運動会実技研修会			
主任主幹保育者研修会（2回）	1	2	主幹保育教諭
実技研修会	1	2	保育教諭
病児病後児保育研修会		1	准看護師
キャリアアップ研修会	7	7	保育教諭
「子ども食育レッスン1・2・3♪」関係者研修会		2	主幹保育教諭・保育教諭
実習指導者研修会		1	主幹保育教諭
給食研修会		1	調理員
浪岡保育協議会職員研修	1	2	保育教諭
給食従事者研修会	1	1	調理員
施設長研修		1	園長
特定給食施設等研修会		1	調理員
東青地区子ども赤十字研修会		1	保育教諭
保育所・認定子ども園リーダートップセミナー	1	1	園長
次世代リーダー研修会		1	副園長
豊かな遊び（わらべうた）	1		園長
親子支援フォーラムイン青森病院	2		園長・主幹保育教諭
保育士会リーダーセミナー	1		主幹保育教諭

新任保育者研修講座	1		保育教諭
幼稚園教諭免許状更新講習	4	4	保育教諭

◆研修他

<浪岡若葉こども園>

女鹿沢小学校参観日見学	園長・主幹保育教諭・保育教諭	3名
青森県立青森第二養護学校見学	園長	1名

<こども園 瑞穂>

浪岡南小学校懇話会	副園長	1名
浪岡南小学校幼・保・小情報交換会	保育教諭	1名
浪岡南小学校参観日見学	園長・副園長	2名

1 2. 福祉サービスにおける苦情解決への取り組み

第三者委員会議の開催<平成30年5月23日>

第三者委員2名、各園の受付担当者及び責任者の出席のもと、平成30年度の状況を報告し、状況の把握と今後へと繋げられるよう、話し合いを行う。

1 3. 自己評価の取り組み

<浪岡若葉こども園>

1回目：平成31年2月22日 実施 認定こども園の教育・保育について

対 象：保育教諭10名（パート保育教諭を除く）

2回目：平成30年3月1日 実施 ※1年の振り返り

対 象：全職員 21名 ※1名産前産後休暇中により実施無し

園長1名 保育教諭10名 パート保育教諭4名 その他職員6名

<こども園 瑞穂>

平成30年11月30日 実施

対象：全職員31名

《浪岡若葉こども園》

<園訓・保育方針>

健康・明朗・誠実・協調

- ・ 広々とした環境の中で一人一人の状況や発達過程を踏まえ、心身ともに健康な子どもに育つ。
- ・ 元気の挨拶をし、明るく元気に人との関わりを育む。
- ・ 他への真心と優しい心を持ち、素直な気持ちを育てる。
- ・ 豊富な体験により、自分の意思を表せる強い心が育つ。

<提供する教育・保育の内容>

- (1) 健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- (2) 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人との関わる力を養う。
- (3) 周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養う。
- (4) 経験したことなど自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲を育て、言葉に対する感覚を養う。
- (5) 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

○児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	4	4	6	8	8	8	8	9	9	9	9	10	92
1歳児	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	80
2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
3歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
5歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	47	47	49	51	52	52	52	53	53	53	53	54	616

○健康管理

・健康診断

歯科健診	なみおか歯科矯正・こども歯科 ＜柿崎 寛＞	4月24日	10月16日
内科検診	田原小児科内科医院 ＜田原 悌＞	4月17日	10月24日

※当日欠席した児童は、後日受診

- ・ 発育測定 毎月実施・記録
- ・ 感染症の予防、早期発見
- ・ 園児ひとり一人の発育発達の個人差に留意し、健康な生活習慣を身につけ、成長できるように取り組んだ。
- ・ 薬剤師による環境検査

6月22日：給食施設簡易検査（水質：適・食器洗浄：不適・大腸菌群：無）

※ 対応＝食器の洗浄方法の改善

6月29日：照度検査（良好な照度を確保している）

8月14日：ホルムアルデヒド・トルエン検査（良好な環境を維持している）

ダニアレルゲン検査（一般家庭レベル）

10月25日：照度検査（良好な照度を確保している）

2月27日：空気検査（良好な空気環境を保っている） 対応＝こまめに換気を行う。

○栄養管理

- ・日常の献立作成の栄養管理、荷重平均食料等、パソコンソフトによる給食事務
- ・両園の栄養士による協議
- ・家庭との連携の取れた無理のない離乳が進められた。
- ・アレルギー児童に対しては、それぞれの子どもに対応し、代替食・除去食・アレルギー対応食を行う。
- ・食育計画を立て、保育教諭と給食担当者が連携を取り、協力しながら進めた。
- ・毎月、給食会議で状況を報告し協議を行い、翌月に活かした目標に繋げた。

○安全管理

- ・交通安全指導

月	ねらい	指導上の留意点
4月	歩道と車道の違いを知り、正しい道路歩行について学ぶ	紙芝居等を使用し、どの年代にも分かり易いように伝える。
5月	交通規則を守り登園する。	交通規則は何故必要で守るべきものか話し合い約束できるようにする。
6月	雨天時の傘の使い方を学ぶ。	実際に傘を使用して、傘の安全な使い方や歩き方を理解できるようにする。
7月	道路への飛び出しの危険性を知る。	紙芝居を見た後に質問し、自ら答える事により理解する。
8月	信号機に見方と意味を知り、横断歩道の渡り方を知る。	道路での指導を行う為、事前の確認や話し合いをし、注意点を確認する。
9月	チャイルドシート、シートベルト着用の必要性を知る。	チラシやマスコット等を配布し、保護者・地域住民にも着用を呼び掛ける。
10月	道路を横断する時の注意点を改めて理解する。	様々な場面での危険性を考え、注意を促すようにする。
11月	交通事故の怖さ大変さを知り踏切で遊ぶことの危険性を知る。	実際の事故等について伝え、注意を促すようにする。
12月	冬期間の凍結、雪道の危険性を知り、正しい雪道歩行を知る。	警察官に雪道の危険性について伝えてもらう。
1月	落雪・つららについて理解し、軒下の危険性を知る。	全体に伝え、戸外活動で担任より細かく指導する。
2月	冬期間の戸外活動において服装、防寒具及び注意事項を知る。	ポケットに手を入れると危険な事や防寒具の必要性を伝える。
3月	交通規則を守ることができたか再確認する。	交通規則を遵守できたか確認する。内容と結果が併っていたか確認する。

- ・交通指導員による交通安全教室＜8月24日＞
- ・青森南警察署員による交通安全指導＜12月26日＞

◇避難訓練

月日	想定	ねらい
4月20日	火災	火災報知器の音を覚える。非常口の目印と位置を確認する。
5月18日	火災	避難訓練の大切さを知る。総合訓練の意味を伝える。
6月12日	不審者侵入	「いかのおすし」の約束をする。警察署員の方の指導を受ける。
6月20日	火災	火災報知器が鳴ったら、保育士の下に集まり、静かに放送を聞く。

7月20日	地震、火災	災害によっては靴を履いて避難する場合もあることを知る。
8月20日	火災	朝の自由保育中なので担任以外の保育士の指示に従い避難する。
9月20日	ミサイル落下・火災	強風時は風向き等も考え、安全に避難することを知る。
10月19日	強震、火災	地震の基本的行動後、火災が起きた場合の行動を知る。総合訓練の意味を知る。
11月20日	風水害、火災	いろいろな災害があることを知り、その都度避難の仕方の違いを知る。
12月20日	火災	避難行動の慣れによる油断のないように気をつける。
1月11日	不審者侵入	避難行動を各自しっかり身につける。
1月21日	ミサイル落下・火災	積雪による災害もあるということを知る。
2月20日	火災	降雪時に避難する場合の注意点を知る。
3月19日	火災	「おかしもの約束」を確認する。

※消防設備点検、年2回<(有)津軽防災設備>消防署への届け出有り

◇平成30年度主な行事

月日	行事名	月日	行事名	月日	行事名
4月7日	入園式	4月28日	浪岡桜まつり(太鼓)	5月2日	こどもの日の集い
5月	赤十字集会	5月18日	防火防災総合訓練	6月2日	保育参観
6月8日	野外保育(総合公園)	6月11日	女鹿沢小学校探検	6月12日	不審者防犯総合訓練
7月7日	七夕の集い	7月15日	ちびっ子祭り	8月9日10日	宿泊保育(八甲田丸)
8月19日	北畠祭り(太鼓)	8月24日	交通安全教室	9月1日	運動会
9月8日	女鹿沢公民館祭り(太鼓)	9月11日13日	津軽医院敬老会	9月21日	十五夜の集い
9月22日	安心安全まちづくりパレード	10月5日	野外保育(浅虫水族館)	10月14日	幼児音体フェスティバル
10月18日	おはなし会(市民図書)	10月19日	防火防災総合訓練	10月27日	焼きいも会
11月15日	七五三参拝	11月16日	給食試食会	11月16日17日	自由参観
11月21日	勤労感謝職場訪問	11月16日	市民図書館おはなし会	11月18日	保育参観
12月8日	遊戯会	12月25日	クリスマス会	12月26日	餅つき会
1月8日	昔っこ交流会	1月11日	不審者防犯総合訓練	2月2日	節分の集い
3月2日	雛祭りの集い	3月2日	次年度説明会	3月9日	入所説明会
3月16日	タイムカプセル開封	3月20日	お別れ会	3月23日	卒園式
3月24日	出初式				

安心安全まちづくり合同パレード(9/22)雨天の為、中止(警察音楽隊演奏のみ参加)

出初式(3/24)悪天候の為、中止

※学研科学教室 5月25日(空気砲) 7月23日(回転ロケット)
 9月6日(磁石でマジックテープ) 11月5日(目の錯覚)
 1月25日(たこ作り) 3月18日(静電気)

※音研和太鼓指導 5月28日・6月25日・7月30日・8月22日
 9月20日・1月30日・2月25日

※誕生会・身体測定(毎月)

※子育て支援(毎月、園内行事参加)

※スイミングスクール（弘前ヤクルトスイミング）月 2～3 回

○特別保育事業

◇延長保育促進事業

◆目的・効果

就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要に増加傾向にあり、保護者の就労、通勤時間などに応じて、保育時間を心配することなく、安心して勤務や通勤のできる環境が出来た。

◆事業概要

区分	延長時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用人数	1時間	68	69	68	77	98	92	127	97	112	96	100	106	1110
標準	2時間	48	41	25	23	19	19	23	12	15	9	14	9	257

◇一時預かり事業

◆目的・効果

継続的短時間就労、職業訓練や保護者の傷病・出産・看護・冠婚葬祭・育児等による心理的、肉体的負担を解消するため等で、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を一時的に預かることで地域や保護者のニーズに応えることが出来た。

◆事業概要

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延べ利用人数	
延べ 利用 人数	4時間未満	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0		82
	4時間以上	9	5	5	7	9	6	5	4	6	9	5	7		
	計	10	6	5	8	9	7	5	5	6	9	5	7		

◇保育所地域活動事業

◆目的・効果

地域に開かれた保育園として、専門的な役割を提供しながら積極的に地域の児童を受け入れ、保護者の就労に配慮した対応、地域のニーズに合わせた活動を行う。

<異年齢児交流等事業>

○ちびっ子まつり（7月14日）○焼きいも会（10月27日）

○クリスマス会（12月22日）○餅つき会（12月26日）○昔っこ交流会（1月8日）

<小学校低学年受け入れ>※自主事業

○小学校低学年児童を受け入れ、当該児童の適切な処遇、安全の確保等を図る。

平日：下校後～18時 学校休業日：7時～18時

◇休日保育事業

◆目的・効果

保護者の就労形態の多様化に伴う日曜祝日等の保育に欠ける児童への対応が可能となり、急用等にも対応でき、保護者が安心して勤務や用事が済ませられる環境が出来た。

◆事業概要

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
実施日数	6日	7日	4日	6日	5日	7日	5日	6日	8日	8日	5日	5日	72日
延べ利用数	10人	7人	6人	6人	1人	4人	5人	3人	4人	4人	2人	2人	54人

その他

○給食試食アンケートの実施 ○浪岡若葉こども園評価アンケートの実施

《こども園 瑞穂》

＜教育・保育方針＞

1. 健康な心身を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、相手を思いやる心や自立心を育て、人と関わる力を養う。
3. 周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養う。
4. 経験したことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲などを育て言葉に対する感覚を養う。
5. 感じたことや考えたことを自分なりに放言することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

○児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	5	6	7	8	9	10	10	11	11	12	12	12	113
1歳児	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	140
2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
3歳児	1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	2.3号	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	1号	1	1	1	1	1	1	1	0	0.	0.	0.	8
	2.3号	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5歳児	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	2.3号	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
計	1号	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	68
	2.3号	74	75	76	77	79	80	80	81	81	82	82	949

○健康管理

・健康診断

歯科健診	なみおか歯科矯正・小児歯科 ＜柿崎 寛＞	4月19日	10月4日
------	-------------------------	-------	-------

内科検診	田原小児科内科医院 ＜田原 悌＞	4月17日	10月24日
------	---------------------	-------	--------

- ・発育測定 毎月実施・記録・カウブ指数の算出
- ・感染症の予防、早期発見の取り組みより、まん延することを防ぐことはできた。
- ・園児ひとり一人の発育発達の個人差に留意し、健康な生活習慣を身につけ、成長できるように取り組んだ。
- ・薬剤師による環境検査
 - 6月21日：給食施設簡易検査（水質：適・食器洗浄：不適・大腸菌群：無）
 - ※ 対応＝古い食器は新しいものと交換する。
 - 6月29日：照度検査（良好な照度を確保している）
 - 8月14日：ダニアレルゲン検査（陰性で良好な環境）
 - 10月24日：照度検査（良好な照度を確保している）
 - 2月27日：空気検査（気流が無く、換気が必要である）
 - ※ 対応＝こまめに換気を行う。

○栄養管理

- ・日常の献立作成の栄養管理、荷重平均食料等、パソコンソフトによる給食事務
- ・両園の栄養士による協議
- ・家庭との連携の取れた無理のない離乳が進められた。
- ・アレルギー児童に対しては、それぞれの子どもに対応し、代替食・除去食を行う。
- ・食育計画を立て、保育教諭と給食担当者が連携を取り、協力しながら進めた。
- ・毎月、給食会議で状況を報告し協議を行い、次の月に活かし目標に繋げた。

○安全管理

- ・交通安全指導

月	ねらい	状況・自己評価
4月	道路には危険が多く、約束があることを知る。	紙芝居を読みながら、みんなで交通ルールを確認していくことができた。
5月	道路の安全な歩き方、渡り方を知る。	交通安全教室に参加する事で横断歩道の渡り方や標識についてみんなで学ぶことができた。
6月	雨の日の安全な歩行の仕方を知る。	傘の正しい差し方等等やって見せることができなかつた為、実際にやっていけるようにしたい。
7月	正しい信号の見方を覚える。	交通安全マスコット配布などを通して交通安全について考えていくことができた。
8月	夜の交通安全について一緒に考え守る。	暗い中での安全について、少し伝えていきたい。室内での安全についても伝えていきたい。
9月	飛び出しの危険性を知り、気をつける。	飛び出しについて、室内でも飛び出しは危険であることを伝えていく。
10月	道路標識の存在を知り、興味を持つ。	道路標識について、伝えていくことができなかつた為、機会を見つけて知らせる。
11月	交通ルールを守りながら歩く。	散歩の時など交通ルールを確認しながら、歩くことができた。道路を渡る時には手を揚げてしっかりと渡る。
12月	凍結、雪道の危険性を知り、安全な歩き方をする。	冬の雪道について安全な歩き方などの確認をする時間が設けられなかつた為、来月はみんなで考えられる時間を設けたい。

1月	車に乗る時は、チャイルドシートやジュニアシートに乗る約束をする。	警察の方に交通安全、雪道での危険性についてお話をしてもらった。静かに集中して聞いていた。
2月	軒下やつららの危険性を知る。	戸外で活動していく中で落雪の危険性やつららの危険性について伝えて行った。気を付けながら、戸外で体を動かし楽しんでた。
3月	交通ルールについて、再確認し、自主的に守る。	年長児は就学に伴い交通ルールや横断歩道の渡り方など再確認した。

- ・交通指導員による交通安全教室<5月25日>
- ・青森南警察署員による交通安全指導<1月10日>

◇避難訓練

月日	想定	ねらい
4月18日	火災	○非常時の合図を知る
5月18日	火災(総合訓練)	○非常時の合図で保育教諭の所に集まり、指示に従い行動する。 ○火災の恐ろしさを知る
6月18日	地震(強震)	○地震の避難方法を知るとともに地震による火災についても知る。
7月18日	火災	○火災の基本行動を知る ○第2避難場所、経路を知る
8月20日	火災	○非常の合図を聞き、担任以外の保育教諭の指示に従って行動する。 ○3つの約束を知る
月日	想定	ねらい
9月18日	地震(弱震)	○地震の基本行動を知る。
10月18日	火災(総合訓練)	○非常の合図を聞き、3つの約束を守り避難する。
11月19日	火災	○指示に従って敏速に避難する。
12月18日	火災	○保育教諭の指示に従い、約束を守り落ち着いて避難する。
1月18日	火災	○降雪時の避難方法及び経路を知る
2月18日	火災	○避難行動の慣れによる油断のないようにする。
3月18日	火災	○約束を守り、落ち着いて避難できるようになる

※消防設備点検、年2回<(有)津軽防災設備>消防署への届け出有り

◇防犯訓練 ・6月26日(園内) ・11月1日(園内)

◇平成30年度主な行事

月日	行事名	月日	行事名	月日	行事名
4月7日	入園式	4月28日	浪岡桜祭り(太鼓)	5月1日	こどもの日の集い
5月8日	赤十字集会	5月18日	防火防災総合訓練	5月25日	交通安全教室
6月7日	野外保育(アップルヒル)	6月16日	保育参観	6月21日	市民図書館おはなし会
6月26日	防犯訓練	7月7日	七夕ちびっこ祭り	7月22日	交通安全街頭指導
7月27日28日	宿泊保育(年長児・学童)	8月7日	芋ほり	8月19日	北畠祭り合同パレード
8月25日	年長児親子バス遠足	9月12日	運動会(浪岡体育館)	9月21日	十五夜の集い
9月25日	食育レッスン1・2・3♪	10月14日	幼児音体フェスティバル	10月15日	募金ボランティア活動
10月17日	野外保育(浅虫水族館等)	10月18日	防火防災総合訓練	10月27日	保育参観・焼きいも会

10月31日	ハロウィンパーティー	11月7日	災害訓練	11月15日	七五三参拝
11月21日	勤労感謝訪問<青森南警察署>	12月16日	お遊戯会	12月18日	喫煙予防教室
12月25日	クリスマス会	1月10日	餅つき会・昔っこ交流会	2月1日	節分の集い
2月2日	親子そり遊び	2月21日	科学タイム体験	3月1日	雛祭りの集い
3月3日	チャリティー芸能発表会	3月20日	お別れ会	3月23日	卒園式
3月24日	出初め式	3月26日	タイムカプセル開封	3月31日	修了式

◇子育て支援事業

- ・園庭開放：利用 0名
- ・子育て広場：利用0回

◇実習・インターシップ・職業体験等の受入れ

- ・教育実習：東北女子短期大学（2年） 2名（9月4日～27日）
- ・保育実習：青森中央短期大学（2年） 1名（10月15日～27日）
- ・調理科調理実習：東奥学園高校（3年） 1名（10月22日～26日）
- ・インターンシップ：尾上総合高校 1名（7月10日～7月12日）
- 弘前実業高校 2名（8月29日～8月31日）
- 浪岡高校 3名（9月5日～9月7日）
- ・職場体験：浪岡中学校（2年） 6名（7月3日～7月5日）

○特別保育事業

◇延長保育促進事業

◆目的・効果

就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要が増加傾向にあり、保護者の就労、通勤時間などに応じて、保育時間を心配することなく、安心して勤務や通勤のできる環境が出来た。

◆事業概要

区分	延長時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用人数	1時間	237	242	312	274	251	225	271	307	254	223	227	257	3080
	2時間	31	35	27	39	31	38	52	26	47	29	19	23	397

◇一時預かり事業<幼稚園型・一般型>

◆目的・効果

幼稚園型：一号認定子どもが教育時間終了後、様々な状況により家庭での保育が困難となった場合に一時的に預かる。

一般型：継続的短時間就労、職業訓練や保護者の傷病・出産・看護・冠婚葬祭・育児等による心理的、肉体的負担を解消するため等で、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を一時的に預かることで地域や保護者のニーズに応えることが出来た。

◆事業概要

<幼稚園型>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用数	37	38	59	61	50	51	65	66	62	35	45	47	616

<一般型>

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延べ利用人数
延べ利用人数	4時間未満	1	1	3	4	1	1	0	0	1	1	2	1	
	4時間以上	0	0	0	0	0	2	0	0	0	8	7	13	
	計	0.5	0.5	1.5	2	0.5	2.5	0	0	0.5	8.5	8	13.5	38

◇保育所地域活動事業

◆目的・効果

地域に開かれた保育園として、専門的な役割を提供しながら積極的に地域の児童を受け入れ、保護者の就労に配慮した対応、地域のニーズに合わせた活動を行う。

<小学校低学年受け入れ>

○小学校低学年児童を受け入れ、当該児童の適切な処遇、安全の確保等を図る。

平日：下校後～18時 学校休業日：7時～18時

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1～3年利用延べ数	343	325	362	388	319	326	390	309	233	244	241	235	3715人
4～6年利用延べ数	172	147	134	138	130	106	128	102	76	92	94	112	1431人

◇休日保育利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
実施日数	6日	5日	4日	4日	4日	6日	5日	5日	5日	5日	4日	4日	57日
延べ利用数	23人	20人	8人	12人	12人	22人	17人	26人	17人	10人	7人	9人	183人

《病児保育事業》

青森市病児一時事業（委託事業）

委託期間平成30年4月1日から平成31年3月31日

◇利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
利用数	未満児	1人	1人	6人	6人	1人	4人	1人	1人	5人	4人	3人	0人	19人
	以上児	1人	0人	0人	1人	11人	2人	3人	2人	0人	4人	1人	0人	8人
	小学生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	計	2人	1人	6人	7人	12人	6人	4人	3人	5人	8人	4人	0人	27人

◇利用児童の主な病名

- ・急性上気道炎 ・急性気管支炎 ・急性咽頭炎 ・気管支喘息 ・扁桃炎 ・腸炎
- ・インフルエンザA ・急性鼻咽頭気管支炎 ・喘息性気管支炎 ・ウイルス性上気道炎
- ・急性鼻咽頭炎 ・手足口病 ・ヘルパンギーナ疑い ・マイコプラズマ肺炎

※ 補則すべき重要事項はないので、附属明細書の作成はしていません。